

授業者

指導教諭

1.指導日時 令和3年 9月17日(金)

2.指導場所

3.指導学級 2年9組

4.単元名 <地理的分野>第2部 日本のさまざまな地域 第3章日本の諸地域 第6節 東北地方

5.単元目標

- ・東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。
- ・生活や文化を中核とした特色ある事象と、それに関する事象や、そこで生ずる課題を理解する。
- ・東北地方において、生活や文化の中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・東北地方について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及しようとする態度を養う。

6.単元の指導計画(全5時間)

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1、東北地方の自然環境           | 4、伝統文化を生かした観光業の発展 |
| 2、寒い夏に対する稲作と畑作の努力(本時) | 5、発展する工業と生活の変化    |
| 3、果樹栽培の発展と生活に根付いた漁業   |                   |

7.単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・上記の課題に対する人々の工夫や努力、対応を理解している。	東北地方において、生活や文化の中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	東北地方について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及しようとしている。

8.教材観

本単元は第2部第3章日本の諸地域の第6節にあたり、日本の各地方に分けた東北地方について掲載されている。第1節から第5節まで学習してきて、ある程度、流れを理解して学習ができる分野になる。この単元は東北地方の地形の特徴や農業、工業、観光業などを理解するのに適している。さらに伝統的な文化や気候との関わりについても深く掘り下げて書かれている。特に東北地方の気候に関連したものが

多く、緯度が他の地域より高いため、北に行くほど冬の寒さが厳しくなっているという特徴をしっかりと押さえている。前編では関東地方の特徴である「人口の多い」という点に着目し、そういった都市部では農業や工業、産業にどのような特徴があるか学習した。本単元ではこれを受け、自然環境との関わりがどのような影響を住んでいる人々はどのような工夫や努力してきたのかを重点に置いて学習をしていく。

3. 生徒観

今回、授業を行うクラスは全体的に落ち着いてしっかりと学習態度で授業に臨むことが出来ています。また教員からの問いかけにも積極的に発言し、とても良い雰囲気です。一方、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や、調べたこと、学習したことをもとに自分の言葉で整理する能力がすべての生徒に十分に身につけているとは言えず、これらの能力を高めることについては課題が見られる。この課題を授業の中で克服できるように多面的・多角的に物事を考察したりする力を高めていくことが今後の教科指導における目標であると考えている。

10. 指導観

この単元では特に東北地方の気候や地形などと関連させて生徒に授業を行っていきたい。東北地方は寒冷地で日本海側では季節風の影響で雪が多く降り、太平洋側ではやませの影響があり夏の気温があがらないことがあるといった厳しい環境の中で農業を行っている。さらに、広い土地を利用した工業や産業なども多くあるといった他の地域とは違う特徴を多く持っていることに注意していく。特に本時では東北地方の気候に関連させ、東北地方は米の一大生産地であることを強調し、農家の人の工夫や努力により現在の形があるとともに、米以外の農作物にも様々な工夫を行い、寒さに対応し、自分たちの地域の特徴を生かした農業を行っているという事をしっかりと認識させていく。

11. 本時の展開

(1) 本時の学習内容

2、寒い夏に対する稲作と畑作の努力

(2) 本時の目標

東北地方の農家は農業を発展させるためにどのような取り組み(努力)をしてきたのかを考察し、学習してきたことをもとに、気候と関連させて東北地方の農業の特徴を自分の言葉でまとめることが出来る。

(思考・判断・表現)

(3) 本時の評価基準

	学習活動における具体的な評価基準 (B)	A「十分満足できる」	Cの生徒への手立て
思考 判断 表現	東北地方の農業にはどのような特徴があるか、プリントや教科書から抜き出してまとめている。	日本の諸地域の中で東北地方の農家はどのような工夫や努力をして、自分たちの地域の気候に対応してきたかを適切に捉え、自分の言葉でまとめている。	「寒い地域」、「品種改良」「米」といったキーワードから書いてみるように促す。

(4) 本時の展開

時間	学習内容	学習活動	指導上の工夫や留意点
導入 5分	本時の課題の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地方の気候について確認し、農業の向き不向きを予想する。</li> <li>&lt;予想される反応&gt; 寒い、農業やりにくそう</li> <li>・米の生産量のグラフを見て、本日は東北の農業について学習することを確認する。</li> <li>・学習課題をワークシートに記入。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都（自分たちの住んでいる地域）と気候を対比させ、厳しい環境であることを意識させる。</li> <li>・何のグラフかを質問し答えさせ、なぜそう思ったかを確認する。</li> <li>※新潟の1位に着目できるように。</li> </ul>

学習課題：東北地方の農家は寒さによる影響を克服するために、どのような工夫や努力をしてきたのか？

展開① 15分	<p>1.米づくりと寒い夏の克服</p> <p>2.減反政策と銘柄米の開発</p>	<p>○米づくりと冷害について学習する、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントの米の生産のグラフの東北地方の県に印をつける。</li> <li>・東北地方でやませの影響による冷害が多く農家に影響を与えたことを学習する。 教科書 P244 の【1993年の東北地方の米の取れ具合】の資料を確認。</li> <li>・1993年の米不足から、冷害に強い品種を開発されていったことを学習する。</li> </ul> <p>○米作りと減反政策について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減反政策の内容、それに対する対応を確認する。</li> <li>・その結果開発された、銘柄米をワークシートに記入。 あきたこまち、つや姫など</li> <li>・再度、米の生産量のグラフを見る。 →東北の生産量の多さには、冷害や減反政策に対する努力があることを確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北6県を確認し、環境が厳しいはずの東北地方が生産量が多いことを気付かせる。</li> <li>・前回の授業と関連させて質問をする。</li> <li>・どの地域が特に数字が低いのかを生徒に聞くようにする。</li> <li>・冷害への対策として農家の人々が大変な努力を経て、現在の米の生産量があることを伝える。</li> <li>・今日の朝食を生徒に質問し、現在の米離れが進んでいる現状を知ってもらう。</li> <li>・銘柄米のスライドを表示し、生徒が聞いたことあるような知識と結びつける。</li> <li>・冷害への対策をしなければならぬところに米の生産量に制限がかかり、二重で影響を受けたことを認識させる。</li> </ul>
------------	---	---	--

<p>展開② 2.5分</p>	<p>3.冷涼な気候を生かした農業の工夫</p>	<p>○米以外にどのような農作物を作っているか、郷土料理を調べ、学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理とは何かを確認する。</li> <li>・指定された郷土料理について調べる。 グループ①：けの汁 グループ②：おくずかけ グループ③：南部ひつつみ</li> </ul> <p>手順①：タブレットを立ち上げ、担当料理の材料を調べ、ワークシートに記入する。</p> <p>手順②：郷土料理の特徴などを調べ、ワークシートに記入する。</p> <p>手順③：調べた材料や特徴などを発表する。</p> <p>手順④：調べた材料から農作物に印をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理に使われている農作物の共通点などを考え、まとめる。</li> </ul> <p>&lt;例&gt; 大根、ニンジン→根菜類、夏の低温の影響を受けにくい 小麦 → 寒さに強い 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の郷土料理、農作物を確認する。</li> </ul> <p>&lt;補足&gt; わんこそば、稲庭うどん、 にんにく、ホップなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理の説明をしてから近畿地方の郷土料理をスライドで表示し、身近なものから理解してもらおう。</li> <li>・2列ずつの3グループに分ける。2列ごとに調べ方について指示を出し、指示が終わってからタブレットを開かせる。</li> <li>・机間指導を行い、作業を行えていない生徒に支援する。</li> <li>・一つの情報だけにならないように、複数のサイト(最低2つ以上)を見るように声をかける。</li> <li>・担当以外の郷土料理の材料をメモするように指示する。</li> <li>・農作物を生徒と一緒に確認する。</li> <li>・大根、ニンジン、ゴボウなどに着目させ、どのような共通点があるか考えさせる。</li> <li>・寒さに強いものと涼しい気候で育ちやすいもの、寒さの影響を受けにくい根菜類といった工夫をしていると強調する</li> </ul>
<p>まとめ 5分</p>	<p>本時のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地方でどのような農作物をつくり、どのような努力や工夫をしていたか、<u>東北地方の気候と関連させて自分の言葉でまとめる。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理のまとめにならないように、米作りも含め、本時の内容をまとめるように指示する。 【思考・判断・表現】</li> </ul>

(5) 板書計画

<p>本時の目標</p> <p>東北地方の農家は農業を発展させるために、どのような取り組みをしてきたのだろう。</p> <p>①米                    ⑤減反政策</p> <p>②やませ                ⑥銘柄米</p> <p>③冷害                  ⑦あきたこまち</p> <p>④ひとめぼれ        ⑧つや姫</p>	<p>材料</p> <p>①けの汁</p>	<p>②おくずかけ</p>	<p>③南部ひつつみ</p>	<p>郷土料理に使われていた農作物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大根、人参、牛蒡</li> <li>⇒根菜類（寒さの影響を受けにくい）</li> <li>・小麦・ジャガイモ</li> <li>⇒寒さに強い作物</li> <li>※里芋は寒さに弱く、</li> <li>寒くなるに食べきる</li> <li>ための知恵。</li> </ul> <hr/> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>そば（岩手）</li> <li>うどん（秋田）</li> <li>にんにく（青森）⇒根菜類</li> <li>ホップ（岩手）</li> <li>⇒涼しい気候で育ちやすい</li> </ul>
--	-----------------------	---------------	----------------	---

『寒い夏に対する稲作と畑作の努力』

教科書 244~245ページ NO.37

本時の学習の課題

1.米づくりと寒い夏の克服

☆右のグラフの、東北地方の県名を、赤で○をしよう！

グラフからも分かるように、東北地方では、古くから

(① )の生産がさかんだった。

しかし東北地方は夏の気温が低く、多くの農家を苦しめ

てきた。



(② )の影響を強く受けると、稲が十分に育たず、収穫量が減ってしまう

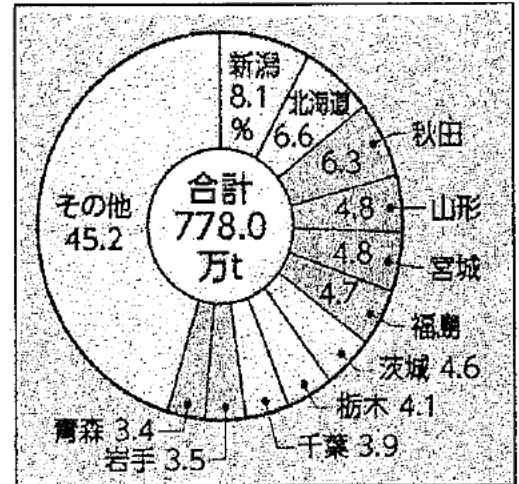
(③ )が起こることがある。

※(② )…主に6月~8月にかけて、東北地方を中心に吹く冷たく湿った北東の風のこと。

→特に1993年には多くの地域が(③ )に見舞われ、東北地方が大きな被害

を受けただけでなく、日本中が米不足に。この年をきっかけに、当時宮城県で開発され

ていた(④ )など、冷害に強い品種の栽培が広がった。

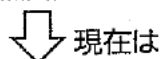


2.減反政策と銘柄米の開発

1970年代に米が余るようになったことから、政府が(⑤ )を始める。

米の生産量に制限がかかり、大豆や麦などへの転作がすすんだが、消費者に喜ばれる

米づくりをめざし、多くの(⑥ )の開発が進んだ。 ※2018年に政策は禁止



現在は

宮城県の(④ )、秋田県の(⑦ )、山形県の(⑧ )などが全国で販売。

☆東北地方の郷土料理を調べ、そこからどのような農作物が東北地方で作られているか確認しよう。

担当する郷土料理【 材料・	その郷土料理の特徴・根付いた理由
------------------	------------------

他の郷土料理①【	他の郷土料理②【
----------	----------

郷土料理に使われていた農作物
補足

【まとめ】

☆本日の学習を通して、東北地方ではどのような農作物をつくり、どのような努力や工夫をしていたか、東北地方の気候などに関連させて自分の言葉でまとめよう。

--